

苫前町における
平成29年度全国学力・学習状況調査の結果

平成30年1月

苫前町教育委員会

平成29年8月、北海道教育委員会から、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成29年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」が公表された。

苫前町教育委員会では、この調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、各学校における指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

◆ 平成29年度全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

ア 小学校調査

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題〔国語A、算数・数学A〕
- ・主として「活用」に関する問題〔国語B、算数・数学B〕

2) 生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査期日

平成29年4月18日（火）

6 調査実施した学校・児童生徒数

【調査】 北海道（公立）

区分	対象学校	学校数（実施率）	児童生徒数
小学校	1,043	971（93.1%）	35,802
中学校	598	559（93.5%）	37,265
合計	1,641	1,530（93.2%）	73,067

7 児童生徒調査の質問内容（質問紙調査）

学習に対する関心・意欲・態度、総合的な学習の時間、学習時間等、学校生活等、家庭でのコミュニケーション、社会に対する興味・関心、自尊意識、規範意識等

■ 苫前町の全国学力調査結果の概要

1 児童生徒の学力状況の概要

【 小学校 】

区 分	国語 A 知識 正答率 (%)	国語 B 活用 正答率 (%)	算数 A 知識 正答率 (%)	算数 B 活用 正答率 (%)
全 国	7 5	5 8	7 9	4 6
北海道	7 4	5 6	7 7	4 4
苫前町	8 2	6 2	8 1	4 2

(1) 国語 A 主として「知識」に関する問題

*全道平均より、**8ポイント**上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問 7 一 (3) 「漢字を読む」(100%)、設問 7 一「漢字を書く」(100%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問 2 二「手紙の構成を理解し、後付けを書く」(57.9%)で、実生活において、依頼状や案内状、礼状などの実用的な文章としての手紙を書く機会を増やす必要がある。

□今後は、

①本設問のように、手紙を書く際は、「前文」「本文」「末文」「後付け」といった手紙全体の構成や、後付けにおける署名と宛名の位置関係といった手紙の基本的な形式などについて指導する必要がある。

②手紙を書く学習活動を、国語科のみならず、国語科との関連を図りながら各教科等に意図的、計画的に設定することが重要である。

(2) 国語 B 主として「活用」に関する問題

*全道平均より、**6ポイント**上回っている。

○平均正答率が比較的高いものは、設問 1 二「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える」(78.9%)、設問 2 二「目的や意図に応じて、引用して書く」(78.9%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問 3 二「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」(36.8%)で、ものの見方や考え方を広げるために、物語を読んで感想を伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことが重要である。また、設問 3 三「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」(42.1%)で、日常の読書では、叙述と自分の体験や他者の解釈とを結びつけたり、他の作品と比べたりして読むことが必要である。

□今後は、

①本設問のように、物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする際は、各自考えたことが、どのように共通していたり相違したりしているかなどを明らかにしながら交流する機会を設定する必要がある。

②本設問のように、叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる際、その叙述を基にどのように解釈したのかを書くことが求められる。

(3) 算数A主として「知識」に関する問題

*全道平均より、4ポイント上回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問1(1)「具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している」(100%)などの問題である。

●課題が見られるものは、設問5「高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している」(57.9%)で、高さが図形の外にある三角形の面積を求めることについての指導の改善・充実が求められる。

□今後は、

①本設問のように、底辺の長さが高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形においては、図形の向きや形に依存せずに、三角形の面積は平行四辺形の面積の半分であることを理解できるようにする指導が必要である。

(4) 算数B主として「活用」に関する問題

*全道平均より、2ポイント下回っている。

○特に平均正答率が高いものは、設問1(2)「示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる」(94.7%)である。

●課題が見られるものは、設問3(2)「仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる」(5.3%)で、測定値の平均を求める際は、平均がおよそどのくらいになるのかを見積もったり、能率的に処理するために工夫して計算したりすることが大切である。また、設問5(2)「身近な物に置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる」(5.3%)で、日常生活の事象を、割合を用いて数学的に解釈するためには、数量の関係を身近な物や図などに置き換えて、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え判断することが大切である。

□今後は、

①本設問のように、7 m20cm に基準を変えて考察する活動を設ける場合、グラフ、式、言葉などを関連付けて式の中の数の意味を解釈し、説明する活動が必要である。

②本設問のように、基準量、比較量、割合がそれぞれ何に当たるのかを捉えるためには、「最小の満月の直径」と「最大の満月の直径」の関係を表す図をかく活動や選んだ硬貨の直径の方が近いと判断した理由を、数量の関係を表す図と、図から解釈できる演算に着目して説明できる活動が必要である。

【 中学校 】

区 分	国語A知識 正答率 (%)	国語B活用 正答率 (%)	数学A知識 正答率 (%)	数学B活用 正答率 (%)
全 国	7 7	7 2	6 5	4 8
北海道	7 7	7 2	6 4	4 7
苫前町	7 6	7 3	6 5	4 8

(1) 国語A 主として「知識」に関する問題

*全道平均より、1ポイント下回っている。

○特に正答率が高いものは、設問3一「それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す」(100%)、設問5二「〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する」(100%)、設問9二1「漢字を読む(覚悟を決める)」(95.7%)、設問9二3「漢字を読む(水が垂れる)」(95.7%)である。

●課題が見られるものは、設問9五「話し合いの記録として適切な言葉を考える」(39.1%)、設問9六1「楷書と比較したときの行書の説明として適切なもの考える」(39.1%)である。

□今後は、

①「事象や行為などを表す多様な語句について理解しているか」に関しては、日常生活や社会生活の中で使われる、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章で用いる語彙を豊かにしようとするのが大切である。

②「楷書と行書との違いを理解しているか」に関しては、行書の基礎を学習する段階で、同じ文字の楷書と行書とを比較し、筆順や運筆などの違いについて理解するとともに、それらを生かして行書で書く学習活動が大切である。

(2) 国語B主として「活用」に関する問題

*全道平均より、1ポイント上回っている。

○正答率が高いものは、設問2一スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する。(91.3%)である。

●課題が見られるものは、ありません。

(3) 数学A主として「知識」に関する問題

*全道平均より、1ポイント上回っている。

○特に正答率が高いものは、設問4(2)「 $\triangle ABC$ を、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく」(100%)、設問1(4)「3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す」(85.7%)、設問2(3)「 $(2x+5y)-(6x-3y)$ を計算する」(91.3%)、設問3(1)「一元一次方程式 $4x=7x+15$ を解く」(91.3%)、設問5(2)「1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ」(91.3%)である。

●課題が見られるものは、設問4(3)「半径が5cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める」(21.7%)、設問14(1)「反復横とびの記録の範囲を求める」(21.7%)、設問7(2)「与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄

を選ぶ」(26.1%)、設問10(3)「反比例の表から比例定数を求める」(26.1%)、設問6(1)「錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ」(30.4%)である。

□今後は、

- ①「扇形の弧の長さを求めることができる」に関しては、扇形を円の一部として捉え、弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを確認する場面を設定することが考えられる。
- ②「範囲の意味を理解している」に関しては、範囲とは、資料の最大値と最小値との差であることを確認したうえで、資料の散らばりの程度を捉える活動を取り入れることが考えられる。
- ③「作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している」に関しては、平行四辺形の作図の手順に用いられている条件や、具体物に見られる平行四辺形になるための条件を指摘する活動を取り入れることが考えられる。
- ④「与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している」に関しては、比例について、 a を比例定数として、 $y = ax$ または、 x 分の $y = a$ という式であらわされる関係であること、反比例について、 a を比例定数として、 $y = x$ 分の a または $xy = a$ という式で表される関係であることを確認する活動を取り入れることが考えられる。
- ⑤「錯角の意味を理解している」に関しては、2直線に1直線が交わってできる8つの角で、互いに同位角や錯角の関係になっている角を見いだす活動を取り入れることが考えられる。

(4) 数学B主として「活用」に関する問題

*全道平均より、1ポイント上回っている。

○正答率の高いものは、設問3(1)「与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 m^3 であったことを表す点を求める」(95.7%)、設問2(1)「六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める」(82.6%)である。

●課題が見られるものは、設問1(2)「四角形 $ABCD$ の模様が1回の回転移動によって四角形 $BEFG$ の模様と重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する」(8.7%)、設問5(3)「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する」(8.7%)、設問2(3)「六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6 + 5(n - 1)$ という式で求めることができる理由を説明する」(13%)、設問3(2)「与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万 m^3 になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する」(26.1%)である。

□今後は、

- ①「2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる」に関しては、日常的な事象において、数量や図形に着目して見いだした事象の特徴を、数学的に表現できるようにするためには、前提とそれによって説明される結論の両方を説明する場面を設定することが考えられる。
- ②「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」に関しては、資料の分布の様子を捉え、説明する場面を設定することが考えられる。
- ③「事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができる」に関しては、事柄

の意味を事象に即して読み取り、読み取った意味に基づいて、根拠を明確にすることが考えられる。

- ④「事象を数学的に解釈して、問題解決の方法を数学的に説明することができる」に関しては、問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるようにすることが考えられる。

2 児童生徒の学習状況の概要

[学習状況調査結果の傾向]

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらとといえばしている」と肯定的に回答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

◆ 苫前町の児童生徒が高い傾向（80%以上）を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *朝食を毎日食べている。
- *毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- *毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- *友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- *友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができている。
- *将来の夢や希望をもっている。
- *家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- *家で学校の宿題をしている。
- *学校で、友達に会うのは楽しい。
- *学校で、好きな授業がある。
- *先生は、自分のよいところを認めてくれている。
- *先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- *学校のきまりを守っている。
- *友達との約束を守っている。
- *人が困っているときは、進んで助けている。
- *いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- *人の役に立つ人間になりたいと思う。
- *「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- *前の学年までの授業では、先生から示される課題や学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。
- *前の学年までの授業では、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた。
- *前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- *国語の勉強は大切だと思う。
- *算数・数学の勉強は大切だと思う。
- *算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- *算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- *調査問題の解答時間は十分だった。（国語A）

*調査問題の解答時間は十分だった。(算数A・数学A)

○小学校のみ

- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- *国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- *国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。
- *算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

○中学校のみ

- *ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- *自分には、よいところがあると思う。
- *授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。
- *学校へ行くのは楽しい。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *今住んでいる地域の行事に参加している。
- *地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- *テレビのニュースやインターネットのニュースを見る。
- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられたと思う。
- *前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。
- *前の学年までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- *授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。
- *国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- *数学ができるようになりたい。
- *調査問題の解答時間は十分だった。(国語B)

◆ 苫前町の児童生徒が低い傾向(60%未満)を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。
- *家で学校の授業の予習をしている。
- *地域や社会を良くするために何をすべきかを考えることがある。
- *地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。
- *将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う。

- *学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。
- *学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする。
- *算数・数学の勉強は好きだ。

○小学校のみ

- *授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。
- *携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- *テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。
- *家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがある。
- *家で、自分で計画を立てて勉強している。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- *新聞を読んでいる。
- *400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- *読書は好きだ。
- *今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題があったが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- *調査問題の解答時間は十分だった。（国語B）
- *調査問題の解答時間は十分だった。（算数B）

○中学校のみ

- *学級会などの話し合いで、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- *数学の授業の内容はよく分かる。
- *数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より高い傾向（5ポイント以上～20ポイント未満）を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- *家で学校の授業の復習をしている。
- *学級会などの話し合いで、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- *先生は、自分のよいところを認めてくれている。
- *今住んでいる地域の行事に参加している。
- *学校のきまりを守っている。
- *「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- *前の学年までの授業では、先生から示される課題や学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。
- *前の学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。

- *前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- *授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。
- *国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- *国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。
- *算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- *算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

○小学校のみ

- *友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- *先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- *国語の授業の内容はよく分かる。
- *調査問題の解答時間は十分だった。（国語A）

○中学校のみ

- *毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- *自分には、よいところがあると思う。
- *友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができている。
- *将来の夢や希望をもっている。
- *授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。
- *家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがある。
- *家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- *家で、自分で計画を立てて勉強している。
- *家で学校の宿題をしている。
- *学校へ行くのは楽しい。
- *学校で、好きな授業がある。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- *地域や社会を良くするために何をすべきかを考えることがある。
- *地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- *地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。
- *テレビのニュースやインターネットのニュースを見る。
- *人が困っているときは、進んで助けている。
- *人の役に立つ人間になりたいと思う。
- *前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。

- * 前の学年までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。
- * 前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- * 前の学年までの授業では、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた。
- * 前の学年までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- * 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- * 国語の勉強は好きだ。
- * 国語の勉強は大切だと思う。
- * 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- * 数学の勉強は大切だ。
- * 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 調査問題の解答時間は十分だった。（国語B）

◆ 苫前町の児童生徒が全道より20ポイント以上高い傾向を示した質問事項

○小学校・中学校共通

なし

○小学校のみ

- * 前の学年までの授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。

○中学校のみ

- * 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- * 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- * 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- * 前の学年までの授業では、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- * 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。

◆ 苫前町の児童生徒が全道より20ポイント以上低い傾向を示した質問事項

○小学校・中学校共通

- * 学習塾（家庭教師を含む）で勉強している。

○小学校のみ

- *授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている。
- *学校へ行くのは楽しい。
- *学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- *地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- *読書は好きだ。
- *今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題があったが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- *調査問題の解答時間は十分だった。(算数 B)

○中学校のみ

- *数学の授業の内容はよく分かる。

〔 児童生徒質問紙から読み取れる傾向 〕

質問内容		児 童		生 徒	
		本町	全道	本町	全道
月～金曜日、1日あたり 「テレビやビデオ・DVD」を 観たり聴いたりする時間	2時間以上	58%	59%	30%	37%
	4時間以上	11%	19%	9%	14%
月～金曜日、1日あたり 「テレビゲーム」をする時間	1時間以上	63%	63%	48%	49%
	4時間以上	11%	13%	9%	15%
月～金曜日、1日あたり 「インターネット」をする 時間	1時間以上	42%	26%	35%	37%
	4時間以上	5%	5%	4%	11%
月～金曜日、1日あたり 学校以外での学習時間（1時間以上）		79%	57%	61%	64%
休日1日あたりの学習時間（1時間以上）		79%	57%	74%	68%
学習塾（家庭教師含む）で勉強している		5%	37%	4%	46%
月～金曜日、1日あたり 読書をする時間	30分以上	11%	36%	22%	25%
	2時間以上	0%	7%	4%	6%
昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、借 りたりするために、学校図書館や地域の図書 館へ月1回以上行く		53%	35%	26%	17%
通学時間	30分以上	5%	13%	9%	15%
	30分未満	95%	87%	91%	84%
放課後の過ごし方 (該当するもの全て) 主な項目のみ	家でテレビ やゲーム等	84%	79%	74%	76%
	家で勉強や 読書	42%	59%	48%	43%
	家族と過ご す	53%	62%	57%	47%

	友達と遊ぶ	74%	75%	52%	43%
	スポーツをする	47%	47%	44%	19%
土曜午前の過ごし方 (該当するもの全て) 主な項目のみ	家でテレビやゲーム等	84%	69%	48%	64%
	家で勉強や読書	37%	52%	22%	30%
	家族と過ごす	63%	70%	39%	46%
	友達と遊ぶ	21%	38%	17%	27%
	スポーツをする	11%	29%	4%	13%
土曜午後の過ごし方 (該当するもの全て) 主な項目のみ	家でテレビやゲーム等	95%	78%	91%	76%
	家で勉強や読書	42%	47%	57%	43%
	家族と過ごす	58%	76%	48%	55%
	友達と遊ぶ	58%	57%	70%	51%
	スポーツをする	26%	30%	22%	15%
部活動への参加	運動部だけ参加			70%	57%
	文化部だけ参加			26%	19%
	どちらにも不参加			4%	23%
月～金曜日における 部活動の時間	3時間未満			96%	64%
	3時間以上			0%	14%

〔 質問紙調査の結果 〕

5ポイント未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・ほぼ同じ
5ポイント以上～20ポイント未満の差・・「高い」又は「低い」で表した。
20ポイント以上の差・・・・・・・・・・・・・・・・・・「非常に高い」又は「非常に低い」で表した。

<学習に対する関心・意欲・態度>

- 「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高かった。
- 「算数・数学の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に低かった。

<学習時間等>

- 家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生は低かったが、中学生では高かった。
- 学校の宿題をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高かった。
- 家で、授業の予習をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低かった。
- 家で学校の授業の復習をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かった。

<基本的な生活習慣>

- 朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低かった。
- 毎日同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高かった。
- 毎日同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では低かったが、中学生ではほぼ同じであった。

<家庭でのコミュニケーション>

- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共にほぼ同じであった。

<地域との関わり>

- 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高かったが、中学生は非常に高かった。
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では非常に高かった。
- 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では非常に高かった。

<社会に対する興味・関心>

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生は非常に低かったが、中学生では非常に高かった。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生は低かったが、中学生では高かった。
- 新聞を読んでいる児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では非常に高かった。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）児童生徒の割合は、全道と比べ小学生は低かったが、中学生では高かった。